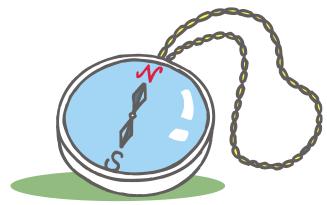


羅針盤



第 34 号 令和5年(2023年)2月13日(月)

◆ 「継続は力なり」

「継続は力なり」この言葉は、生徒の皆さんもこれまでに何度も耳にしたことのある言葉ではないでしょうか。続けていくことの重要性を説いた言葉で、どんなことでも継続して続けることが成功への大きな要因となり、コツコツと努力を続けていれば、いつか必ず目標が達成できることを意味しています。長い人生を歩んでいれば誰でも挫折を味わうことがあります。そして、精神的に落ち込んで立ち直るのが難しくなってしまい、途中で諦めてしまいたくなることもあるのが事実です。しかし、挫折に負けずに努力を続けていくことで、努力の積み重ねが自分の力となって、いずれは目標を達成できるということを信じて疑わないことが大事なことであり、きっと一人ひとりの自信へと繋がっていくはずです。人は誰でも、叶えたい夢や希望があるものです。特に、大きな目標やゴールを設定した人にとっては、人の何倍も何十倍も努力が必要となります。幾多の困難な課題を乗り越えていくためには、場合によっては断念したくなるようなこともあるでしょう。それでも「継続」することにこだわり執着することができれば、少しずつでも夢や希望に近づくことができるはずです。「継続は力なり」は、「何事も続けることで成果が得られるものである」ということわざではありますが、もう一つの意味として、「諦めずに取り組むことが、その人の自らが持つ能力の一つとなりえる」と捉えることができます。継続することは、想像以上に困難であり、ただ続けていれば良いという端的で容易なものではなく、毎日毎日、続けるという作業自体が、大変な困難を伴っているということを理解して取り組むことが大切なことであるということです。「継続は力なり」とは、力量不足でも断念せず地道に努力することであり、将来達成することができるという意味に加えて、目標に向かって取り組みを継続することそのものが才能の一つであることをも表していると言えます。たとえ不器用でも、はじめは何も成果がでなくても、コツコツと継続して努力していくことに勝ることはありません。目標に向かって突き進む熱意を忘れることなく、自分の掲げた目標を実現するために、「継続は力なり」という言葉を忘れずに有意義な学校生活を過ごしてもらいたいと思います。



◆ 「立春（りっしゅん）」から「雨水（うすい）」へ

まだまだ肌寒く感じる日が続いているのですが、雪や氷が解けて水となり、雪に代わって雨が降り始める季節となったことを意味する「雨水」へとこの週末の2月19日（日）から変わりゆくこととなります。実際には、積雪のピークであるといわれる季節ですが、この時節から寒さが峠を越えて徐々に暖かくなっていくということを感じることができる季節へと移行していくようです。植物の草や木も芽を出し始めて、日ごとに春を感じることができるようになり、春一番が吹いて、鶯の鳴き声を待ちわびるような日も近くまでやってきています。春の訪れを感じ取ることができる日を心待ちにしながら、今やるべきことを怠ることなく充実した日々を過ごしてほしいと思います。

